

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	血管－神経ワイヤリングにおける相互依存性の成立機構
領域代表者	高橋 淑子（奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス科・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、成体や個体発生、組織再生の過程における血管と神経の相互依存性という新しい問題を、生体イメージングによる観察、細胞間シグナリングの分子実体という二つの観点から解明することを目的としており、血管生物学と神経科学との学術融合を機軸とした、斬新な新興・融合領域の創成が期待できる。血管生物学と神経科学のクロストークの実体解明は、疾患の病態解明だけでなく、治療法や創薬の開発に結びつく可能性が大きく、生物学的にも重要なテーマである。研究組織は、研究推進に十分貢献できる実力と実績のある研究者により構成されており、領域代表者のリーダーシップのもと、意義ある連携が十分機能すると考えられる。</p>